

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年1月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

ISDA は金融庁と会合を行い、日本と海外双方におけるオペレーションの基盤整備やドキュメンテーションの向上へのイニシアチブなど、最近の CDS 市場の発展状況について、情報のアップデートを行った。

Risk Management 担当森田(tmorita@isda.org)

1月16日、LCH.Clearnet をゲストスピーカーとして Japan Risk Management Committee と Japan Operations Committee による合同会議が行われた。LCH.Clearnet は彼らが提供するスワップ取引のクリアリングサービスである SwapClear について、取引締結からクリアリングへのオペレーション手続き、リスク管理や担保管理の仕組み、参加メンバーに実際のデフォルトが発生した場合の手続きなどについて、メンバーに情報提供をした。参加者は、銀行や証券会社のリスク管理担当者、オペレーション関係者、弁護士など。

Operations: 担当難波(knamba@isda.org)

1月26日、本邦金融機関のメンバーにより会合が開かれ、電子コンファメーション・プラットフォームの導入状況について、金利、クレジット、エクイティに関して参加各社が報告を行い、また電子コンファメーション手続きに関する問題点について話し合いが行われた。

同じく1月26日、ISDA は東京証券取引所、日本証券クリアリング機構並びに証券保管振替機構による「OTC デリバティブのポストレード処理の整備に関する研究会」の第5回会合に参加した。また、1月30日には東京証券取引所主催による「OTC デリバティブ取引のクリアリング制度検討会」の第三回会合に参加した。いずれも主な議題は、日本におけるセントラル・カウンターパーティー制度導入の可能性について。

Credit Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

Japan Credit Derivatives Committee の有志メンバーによるリサーチワーキンググループが、CDS に関する FAQ のドラフティング作業を完了、最終版が東京金融取引所の J-CDS のページに2月2日より掲載される予定。FAQ の掲載目的は、日本における CDS ビジネスの正確な理解を促進するため。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Japan Regulatory Committee (日本語による会合)	2月13日
Japan CDS Auction WG/Credit Derivatives Committee (日本語による会合)	2月17日
Japan Variance Swap Working Group (英語による電話会議)	tbd